

平成23年12月27日

JRR-3 をご利用の皆様へ

日頃から当部の研究炉JRR-3をご利用頂き、また、格別のご高配を賜り、深く感謝しております。

さて、東日本大震災に伴うJRR-3の今年度中の運転再開に向けた復旧作業につきましては既に11月10日付で本ホームページ等に掲載した「JRR-3及びJRR-4をご利用の皆様へ」にてご案内しているところでありますが、12月27日現在のJRR-3の復旧状況と今後の見通しについて以下にお知らせいたします。

1) JRR-3の再稼働までのプロセス（確定している事項）

- ① 2月末までに文部科学省に施設の健全性評価結果（点検及び耐震解析による評価結果）を報告
- ② 文部科学省による当該報告書の確認
- ③ 報告書が安全上適切と判断された後、施設定期検査受検

2) JRR-3の再稼働までの見通し

JRR-3の再稼働の見通しとしてこれまでお知らせしていた2月末の運転再開を断念しました。再稼働時期については現時点において確たる時期をお知らせできず誠に残念ではございますが、担当省庁により報告書の確認が1ヶ月程度で終了した場合、4月後半若しくは5月初めに再稼働が可能になるものと想定されます。ただし、再稼働の時期は報告書の確認に要する期間により秋口となる可能性があります。また、耐震解析により問題が確認された場合には、補修又は補強対策が必要となることが想定されます。再稼働の時期につきましては、状況が判明した時点でお知らせします。なお、再稼働後にはできるだけ長い期間運転を継続できるよう考えています。

研究炉利用者の皆様方には大変にご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

独立行政法人 日本原子力研究開発機構
東海研究開発センター 原子力科学研究所
研究炉加速器管理部長
丸尾 毅